

病院のお仕事いろいろ

個別性のある看護を



がん放射線療法看護認定看護師
看護部 放射線・救急

伊井 智子(いゐともこ)
看護師

近年、放射線に関する技術は急速に発展し、テレビや新聞でも頻繁に取り上げられています。しかし、「放射線」という言葉を耳にしたことはあっても、その本質を知らない方は少なくないでしょう。それは、これから放射線療法に臨むがん患者さんであっても同じことです。「がん」という大きな精神的ショックを伴う告知を受け、息つく間もなく治療に関する説明を受ける中で、果たしてどれだけの人が放射線療法の内容を受け止められるでしょうか。伊井さんは、そのようながん患者さんが抱える疑問や不安に寄り添い、選択した治療を完遂できるように支援する「がん放射線療法看護認定看護師」です。「患者さんひとりひとりにじっくりと向き合い、漠然とした疑問や不安についても、患者さんの立場に立って相談に応じることを心がけています。ご家族と患者さんの意思決定に寄り添うことから、副作用である皮膚炎のケアの

ことまで、内容は様々です。また、治療にも立ち合わせて頂き、医師や放射線技師と情報共有がスムーズに行えるようサポートしています。1～2ヶ月の治療期間が終わったときに「安心して治療を受けることができました。」という言葉がいただけたときには、大変やりがいを感じます。」と伊井さんは言います。これまで様々な看護を経験してきた伊井さんですが、がん放射線療法看護という分野においては専門的な知識を持つ看護師が足りないと感じています。放射線科には、小児から高齢者まで、多くの診療科の患者さんが訪れるため、患者さんそれぞれの病状に寄り添うためには膨大な知識が必要となります。「平成31年より、院内認定看護師にがん放射線看護コースを開設する予定です。各病棟ごとにがん放射線看護のスペシャリストを養成し、それぞれの診療科に合ったケアが実践されることを目指します。」



治験を実施しています

現在、開発中の医薬品の候補(治験薬)を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

- 心房細動
- 脳卒中後下肢血腫
- 金属アレルギー
- 急性骨髄性白血病
- 肺癌
- 腎癌
- 加齢黄斑変性症
- 肝細胞癌
- 胃癌
- 前立腺癌
- 重症熱性血小板減少症候群
- 乾癬
- 多発性骨髄腫
- 尿路上皮癌
- 早期アルツハイマー型認知症
- 突発性肺線維症
- アミロイドーシス
- 子宮頸癌
- 壊疽性膿皮症



ご協力
お願いします。

ちけん君は
日本医師会治験促進センターの
キャラクターです。

問合せ:
臨床試験管理センター
tel.088-633-9294